



10月27日(月)から(高等部1年生は11月4日(火)から)始まった高等部後期現場実習が、11月14日(金)に無事に終わりました。季節の変わり目で天候の急な変化やインフルエンザの流行期で体調を崩さないか心配でしたが、天候にも恵まれ、生徒たちは元気にそれぞれの実習先で多くの経験を積むことができました。今回の進路だよりでは、高等部生徒が現場実習で頑張ったことや働くために必要となる力などについて、実習先からいただいた評価表を基に分析したことをお伝えします。また、11月25日(火)に開催した後期現場実習報告会の様子についてもお伝えします。

実習先の評価表から



高等部の現場実習では、毎日の振り返りをする「実習ノート」の他に、実習期間中の総合評価を実習先に依頼し、評価表にまとめていただいています。特に3年生は、「卒業後の採用の見通し」について「A 採用可」「B 検討中(さらに様子を見て)」「C 採用は難しい」の判断もお願いしています。今回は、評価表に記入いただいたコメントから見えてきたことについてお伝えします。

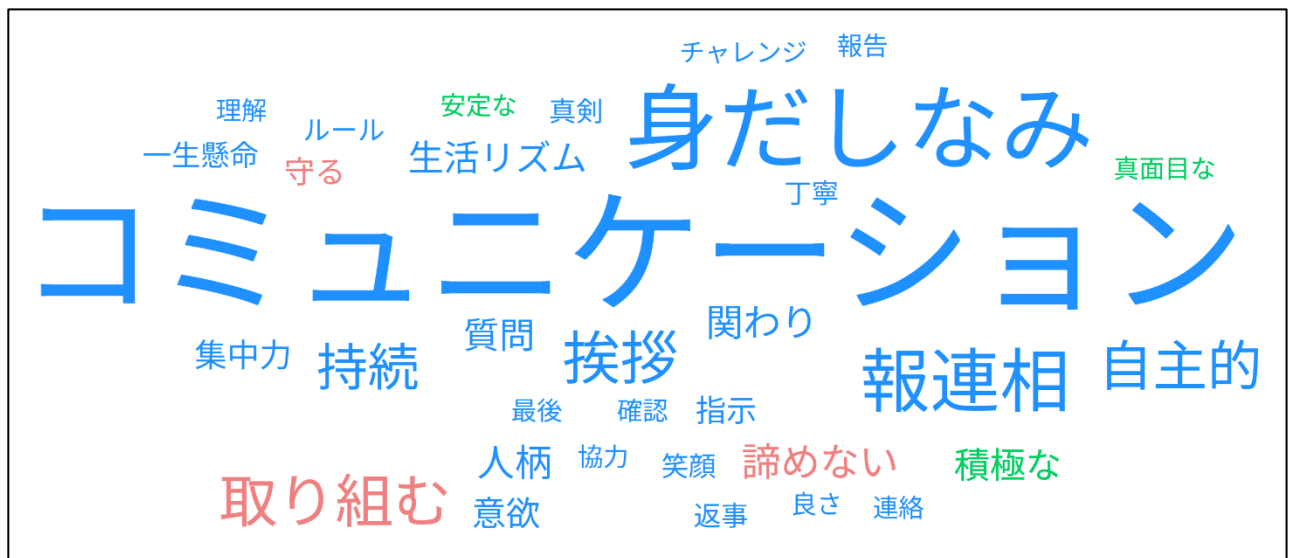


図1 高等部生徒が頑張ったこと

図1は、実習先の方からいただいたコメント(現場実習中に生徒たちが頑張ったことに関するコメント)をテキストマイニング※1)に入力した結果です。文字の大きさは、出現頻度を、また、文字の色は品詞(動詞、形容詞など)を表しています。一目瞭然の結果ですが、今回の現場実習では「コミュニケーション(人との関わり)」が多くの実習先で高く評価されました。併せて、「身だしなみ」や「挨拶」、「報連相」も高い評価を得ています。特に「身だしなみ」や「挨拶」は、社会的マナーの基礎となる部分です。小さい頃からの積み重ねが大切となりますので、将来に向けて自分で身だしなみを整えることや、自分から挨拶をすることを意識して、今後の学校生活も送ってほしいと思います。

※1)…テキストマイニングは、自由形式で記述された文章を自然言語処理で分析し、有益な情報を探し出す手法です。

次に、働くために必要な力についてです。これは、種別(企業・A型・B型・移行支援・生活介護)によって異なりますが、どの種別にも共通して言えることは「元気な身体」です。何をするにもまずは身体が資本とな

りますので、「元気であること」、「健康であること」が肝心だと多くの実習先の方から聞きます。ポイントとなる「元気な身体」を持続するには、睡眠や栄養をしっかりと摂ることが大切です。併せて無理のない範囲での運動も欠かせません。これから寒さが増すにつれてインフルエンザなどの感染症が流行る季節となりますので、改めて健康管理の大切さを感じました。

後期現場実習報告会

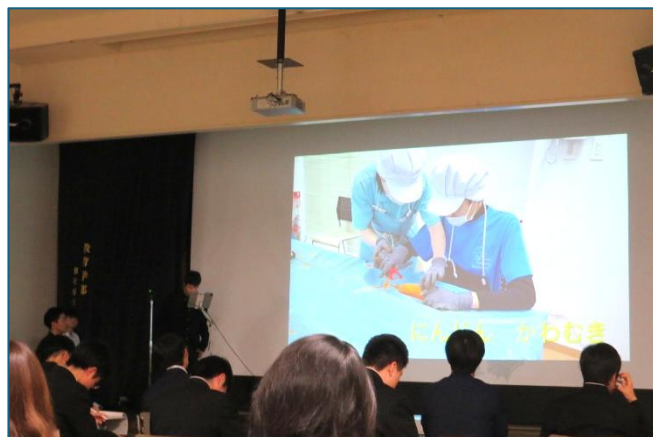


1年生の発表の様子

報告会では、現場実習に向けて考えた目標の振り返りや実習を通して分かった成果と課題、また、これから頑張ることなどについて各学年発表しました。質問コーナーでは、作業で気を付けたところや使った道具など、具体的な内容に関する質問が多く出ました。報告会を通して、卒業後の進路や次の現場実習先を考えるヒントを得ることができたようでした。



2年生の発表の様子



3年生の発表の様子



後輩から先輩へ、たくさんの質問が飛び交いました

【動画配信について】

後期現場実習報告会の様子を限定配信します。配信につきましては、準備が整い次第、安心メールでお知らせします。ぜひ、御覧ください。

